

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0866  
 住 所 神奈川県川崎市川崎区水江町6-20  
 氏 名 隅田冷凍工業株式会社  
 取締役社長 田淵 馨 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	隅田冷凍工業株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区水江町6-20		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	主として、冷蔵倉庫を運営し、取引先の貨物を低温で保管・管理している。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,307 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	工務課
		所在地	川崎市川崎区水江町6-20
		電話番号	044-280-5034
		FAX番号	044-280-5051
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

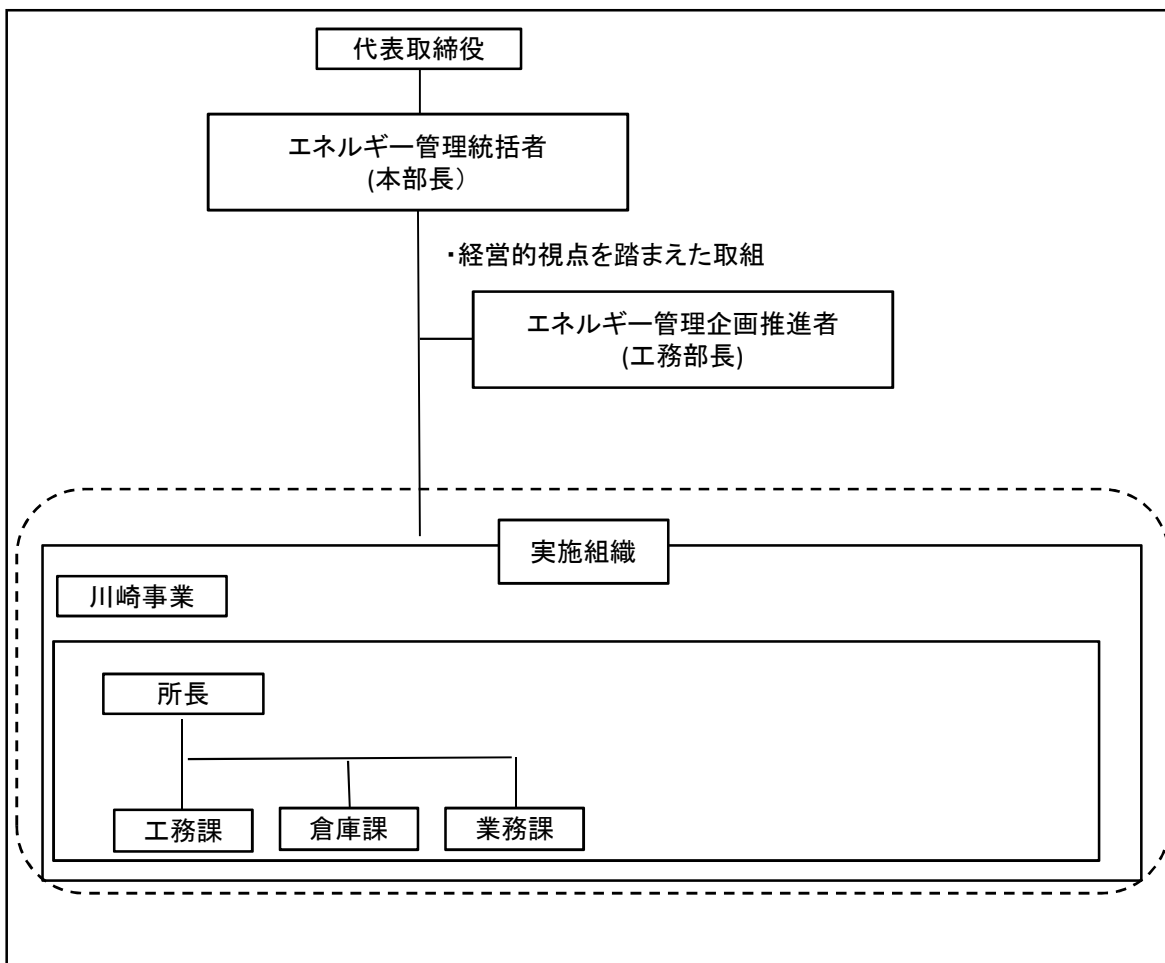
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

**事業者全体の基本方針**  
次の方針により、地球温暖化対策を進めている。  
①地球温暖化対策の取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。  
②目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 5,925 (調) 5,925 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 5,747 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0 %	削減量	(実) 178 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量		単 位	
基準年度の値		目標年度の値	
削減率	%		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

<p>温室効果ガスの排出量の削減を図る為、年平均で1%以上削減する事を前提に目標を設定しました。</p> <p>①動力系の使用電力量について 平成27年6月に1冷倉庫の冷却塔にスケール除去装置を設置した為、以降、徐々に冷却塔の環境が改善されており、冷凍機の熱交換効率の向上により、使用電力の削減が見込まれます。</p> <p>②電灯系の使用電力量について 5年前より、照明設備のLED化を進めており、事務所の照明や1冷倉庫の荷捌き、倉庫内の200W電球などは既にLED化が終わっております。 今後は、冷凍倉庫内の蛍光灯照明や倉庫階段の非常灯、事務棟のトイレ内照明等のLED化を進めていきます。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>1. 冷凍機の運転効率改善 平成27年6月1日 冷却塔にスケール除去装置を設置済。 スケール除去に伴う運転効率の向上により、使用電力の削減が見込まれる。 (3年間で熱交換効率が約60%から100%に改善見込み)</p> <p>2. 外気侵入防止 荷捌き室、ドックシェルター準対応車種への隙間塞ぎによる外気侵入防止の徹底。</p> <p>3. HF蛍光灯のLED化</p> <table border="0"> <tr> <td>1 冷倉庫</td> <td>冷凍庫内蛍光灯</td> <td>352本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>常温蛍光灯</td> <td>274本</td> </tr> <tr> <td>2 冷倉庫</td> <td>冷凍庫内蛍光灯</td> <td>276本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>常温蛍光灯</td> <td>190本</td> </tr> </table> <p>4. 階段非常灯(常夜灯)のLED化</p> <table border="0"> <tr> <td>1 冷倉庫</td> <td>38灯</td> </tr> <tr> <td>2 冷倉庫</td> <td>20灯</td> </tr> </table> <p>5. 玄関ホール・トイレ内のダウンライトLED化 事務棟 47個</p> <p>6. その他のLED化</p> <table border="0"> <tr> <td>バース庇灯</td> <td>26本</td> </tr> <tr> <td>屋外水銀灯</td> <td>12個</td> </tr> </table>	1 冷倉庫	冷凍庫内蛍光灯	352本		常温蛍光灯	274本	2 冷倉庫	冷凍庫内蛍光灯	276本		常温蛍光灯	190本	1 冷倉庫	38灯	2 冷倉庫	20灯	バース庇灯	26本	屋外水銀灯	12個
1 冷倉庫	冷凍庫内蛍光灯	352本																			
	常温蛍光灯	274本																			
2 冷倉庫	冷凍庫内蛍光灯	276本																			
	常温蛍光灯	190本																			
1 冷倉庫	38灯																				
2 冷倉庫	20灯																				
バース庇灯	26本																				
屋外水銀灯	12個																				
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>																					

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生エネルギー源等の利用については、当面、計画はありません。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

1. 冷凍機の運転効率改善  
 1 冷 冷却塔にスケール除去装置を設置 (平成27年6月)

2. 外気侵入防止  
 荷捌き室、ドックシェルター準対応車種への隙間塞ぎによる外気侵入防止の徹底。

3. 照明LED化  
 事務棟・1 冷倉庫荷捌き 蛍光灯 532本 (平成25年9月)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

特になし。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 廃棄物の減容化
2. リサイクル化の推進

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,925	t-CO <sub>2</sub>
(調)	5,925	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	川崎市川崎区水江町 6-20	4721	冷蔵倉庫業	5,925 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--